

ご挨拶



就任のご挨拶

桐本 光

医歯薬保健学研究科 保健学専攻
心身機能生活制御科学講座 感覚運動神経科学 教授

平成29年6月1日付けで、山勝裕久教授の後任として広島大学大学院医歯薬保健学研究科の教授に着任いたしました桐本 光（きりもと ひかり）と申します。

私は平成13年より鹿屋体育大学大学院の田巻弘之教授、平成15年より九州大学大学院 臨床神経生理学教室の飛松省三教授に師事し、約15年間ヒトを対象とした神経生理学領域において、リハビリテーション効果を促通する非侵襲的脳刺激方法の開発、及び手指巧緻動作を可能にする感覚運動系神経基盤の解明について研究してまいりました。ようやくこのような場で「研究してきました」と言及できるようになったばかりの浅学の身ではありますが、今後は臨床現場の方々との交流機会を意識的に増やし、基礎研究を現場で活用するトランスレーショナルリサーチ（橋渡し研究）にも関わっていく所存です。世界トップ100を目指すチームの一員として尽力致しますので、どうかご指導下さいませようお願い致します。

最後に年々、年が離れて行く学生に対して些細なことでも共感を持ち続けるために、オススメなフレーズで締めさせていただきます。酒場に繰り出すときの言い訳にも便利です。

We don't stop playing because we grow old; we grow old because we stop playing（年をとったから遊ばなくなるのではない。遊ばなくなるから年をとるのだ。）-George Bernard Shaw-



就任のご挨拶

河口 浩之

病院 歯系総合診療科
口腔総合診療科 教授

平成29年7月1日付けで、小川哲次教授の後任として広島大学病院口腔総合診療科教授に着任いたしました河口浩之です。紙面をお借りして皆様にご挨拶を申し上げます。

私は、広島市南区に生まれ、広島大学附属小学校・中学校・高等学校、広島大学歯学部、広島大学大学院歯学研究科と22年間の学生生活すべてを「広島大学」で過ごしました。その後、広島大学歯学部歯科保存学第二講座に入局し、平成24年3月までの22年間「広島大学」で歯科医師として勤務してきました。学生・社会人合わせて44年間「広島大学」にお世話になった根っからの広島大学人です。平成24年4月から5年3か月、日本鋼管福山病院の歯科部長として地域医療に携わりましたが、この度、大好きな「広島大学」で再び仕事ができることは、私にとって誠に光栄であり、このような機会を授けてくださいました皆様に厚く御礼を申し上げます。

担当する口腔総合診療科は、平成18年から必須化された歯科医師臨床研修の場として整備された部門です。歯科研修医の研修期間は1年間ですが、生涯研修のなかでこの最初の1年の影響力は大きく、責任の重さを実感しています。歯科医師臨床研修に、リサーチマインドの醸成や国際化推進など広島大学の特徴・理念を生かした研修プログラムを取り入れ、将来の歯科医療を牽引する医療人を1人でも多く育成したいと考えております。広島大学の発展のために、できる限りの恩返しをする所存ですので、今後とも皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。